

Broadcast Host™

アナログ・デスクトップ・デジタル・ハイブリッド



特長

- » 通話相手と出演者の声を高い分離度でクリアに分離
- » 16 ビット DSP テクノロジー
- » オートアンサー（オン/オフ切替）
- » 独自のオート・ヌル・アルゴリズム（50 dB ヌル）
- » 送信 XLR ライン入力
- » マイク/ライン切替スイッチ
- » 3.5 mm モノラル・ライン入力
- » 通話相手 XLR ライン出力
- » 3.5 mm ステレオ・ライン出力
- » 3.5 mm ヘッドホン端子
- » 送信/通話相手 信号レベル LED
- » 送信/通話相手 音量コントロール
- » ゲストモジュール用リモート端子

最も人気のデジタル・ハイブリッド

Broadcast Host が、デスクトップをプロ仕様の放送センターへ。トーク番組クオリティの電話音声、ミキサーやサウンドカードへ取り込むために必要な機能を一台にまとめています。

マイクとヘッドホンを接続すれば、局へのシンプルな送り返しがすぐに可能です。すでに局内にいる場合は、ニュースルームで Broadcast Host を使って高音質の電話インタビューを録音できます。Broadcast Host は、自分の声と相手の声を確実に分離したまま、マイク/ラインレベル信号を電話回線へ送出します。背面のステレオ出力ジャックは、片チャンネルに自分の声、もう片チャンネルに相手の声だけを出力します。バランス XLR 出力ジャックからは、相手の声のみを取り出せます。

デジタル・ハイブリッドは、アナログ・ハイブリッドで起こりがちな送受話の回り込み(クロストーク)を抑えながら、標準的なアナログ電話回線へ音声信号を接続します。DSP(デジタル・シグナル・プロセッサ)が電話回線と音声信号の双方を常時監視し、高い分離性能を実現します。独自のデュアル・コンバージェンス方式エコーキャンセラー・アルゴリズムにより、設定不要で、回線へノイズバーストを送出することなく、通常 50 dB を超える優れた分離を達成します。

Broadcast Host は、マイク、ヘッドホン、ミキサー、サウンドカード、電話機、アナログ電話回線の接続に対応しています。補助電話機が必要なのは発信時のみです。補助電話機は Call ボタンを押すと切り離され、Drop ボタンを押すと再接続されます。

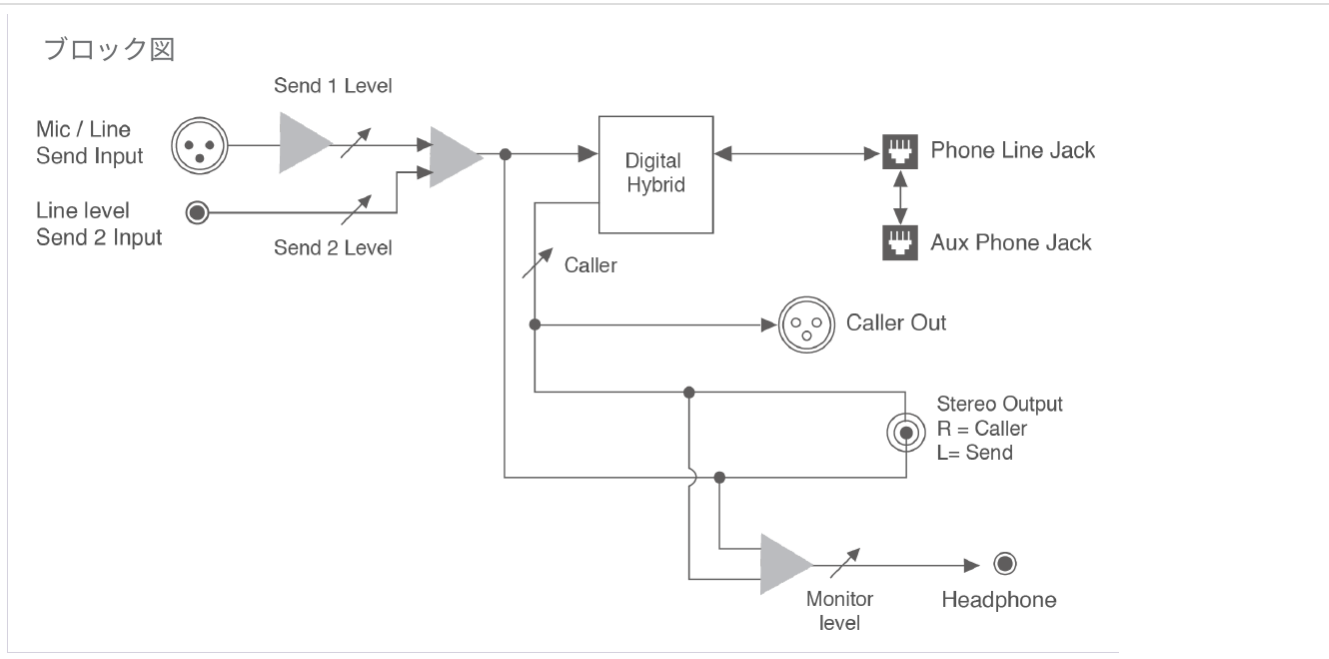
オートアンサー/オート切断機能を備えており、IFB やモニタリング用途にも便利です。そのほか、ポッドキャスト、電話インタビュー、トーク番組、教会 PA のインターフェース、会議室での全二重(フルデュプレックス)用途などに活用できます。

Broadcast Host™

アナログ・デスクトップ・デジタル・ハイブリッド



ブロック図



仕様

入力

バランス (XLR メス)	1 k Ω / 15 mV RMS; -34 dBu (標準)
マイク入力	マイク/ライン・パッド切替 = 最大 +6 dBu
3.5 mm ジャック モノラル	20 k Ω / 250 mV RMS; -10 dBu (標準)

出力

バランス (XLR オス)	200 Ω / 500 mV RMS; -4 dBu (標準)
	最大 +14 dBu、通話相手のみ
3.5 mm (1/8 インチ) ステレオ	50 Ω / 250 mV RMS; 最大 +6 dBu
	左 = 送出、右 = 通話相手
ヘッドホン 3.5 mm	8 Ω / 250 mW
	送出と通話相手をミックス

その他

電話回線コネクタ	RJ11C
補助電話	RJ11C
呼出ベル	0.8 B REN
周波数特性	電話回線側 200 Hz - 3600 Hz
絶縁	AC1500 V
電源	本体 DC9V AC120-240 V, PSE 対応 電源アダプター (付属)
サイズ	180 x 150 x 42 mm (7 インチ x 6 インチ x 1.6 インチ)
重量	1 kg (2.2 lb)